

おがぴ～通信

おがさわら耳鼻咽喉科クリニック vol.1



ほくの名前は
おがぴ～。
よろしくね!



2012年3月19日 発行

「りんごを食べるとかゆくなりませんか?～花粉症とOASについて～」

本州では毎年スギ花粉症が話題になりますが、札幌ではスギ花粉症はありません。札幌で飛散するスギ花粉の量がとても少ないためです。札幌で重要な花粉症は、**シラカバ花粉症**と**イネ科花粉症(カモガヤなど)**、**ヨモギ花粉症**です。

ところで、これらの花粉症の人がりんごやモモなどの果実や野菜を生で食べると、口の中がかゆくなる場合があります。これは**口腔アレルギー症候群(OAS)**という一種のアレルギー症状で、シラカバ花粉症の人に多くみられます。

口の中のかゆみや腫れ、違和感など比較的軽度な症状が多いですが、稀に呼吸困難などの重篤な症状も起こります。これは、食べ物の抗原(注1)が花粉の抗原と構造が似ているため、食べ物を花粉と誤って認識するためと考えられています。

症状が特に現れやすいのはシラカバやハンノキ花粉症の人たちです。ヨモギ花粉症の人と比較的軽度な症状が現れやすいですが、その他の花粉症でも症状が現れる場合があります。また、抗原特異的IgE抗体価(**RASTスコア**)が高い人ほど症状が現れやすくなります。

シラカバ花粉症では**りんご**や**モモ**、**サクランボ**、**ナシ**、イチゴなどのバラ科の果実を食べると症状が現れやすいです。また、多くの花粉症に共通して**キウイ**、スイカ、メロンなどにより症状が現れます。

残念ながら、現時点ではOASを治療する方法は見つかっていません。症状が現れる食べ物を食べないことが唯一の治療方法であり予防方法です。初めのうちは症状が軽いからと原因食物を食べ続けた結果、重篤な症状を起こした例もあり、可能な限り原因の食物を避けることが必要です。ただし、OASの抗原は加熱や消化液で不活性化されるものが多いため、加熱処理したものや缶詰の多くは摂取可能です。

RASTスコアが高くなる花粉飛散時期に症状が現れやすく注意が必要です。血液検査でアレルギーを調べ花粉症の存在を確認するとともに、原因と疑われる食物のRASTスコアを測定することが重要です。RASTスコアは当院でも調べられますので、ご希望の方はお申し出下さい。

注1) 抗原: アレルギー反応を引き起こす物質のこと。
たんぱく質で出来ている

花粉症のかきくけこ

花粉症の季節です。花粉症の人には辛い季節になりましたね。そこで花粉症対策の「かきくけこ」をご紹介します。毎日の中で気をつけて快適に乗り切りましょう!



以上の事を実践してみてください、すこしでも花粉シーズンを快適に過ごしましょう。

また、自分が何の花粉のアレルギーかは血液検査で調べることができます。何のアレルギーかを自分で知ることで対処がしやすくなります。協和発酵キリンパンフレットより

※ご意見・ご質問がありましたら今後の参考にさせていただきます。

～携帯電話で「混雑確認」と「受付」ができます～

当院では時間を有効にご利用いただくために「携帯電話受付システム(シマフクロウコール)」を導入しています。受付を携帯電話で済ませることができます。

- 「時間予約」ではありません。ご自分の順番までにご来院ください。
- 受付が完了したら必ず「返信メール」が届きます。返信メールでご自分の受付番号を確認できます。メールが届かない場合、お電話でお問い合わせください。
- 5番過ぎてもらっしやらない場合は「受付取り消し」となります。詳細は受付までお問い合わせください。

診療時間	月	火	水	木	金	土
9:00～12:30						
14:00～18:00						